

令和6年第4回東京都北区教育委員会臨時会

会議月日	令和6年7月24日（水）午後1時30分	
開催場所	北区教育委員会室	
出席委員	教育長 清正浩靖 委員 宮川淳子 委員 長谷川勝久	委員 本間正江 委員 長谷川みどり 委員 名島啓太
事務局職員	教育振興部長 学び未来課長 学校支援課長 教育指導課長 飛鳥山博物館長	教育政策課長 学校改築施設管理課長 生涯学習・学校地域連携課長 教育総合相談センター所長 中央図書館長

会議に付した議案並びに審査結果

日程	議案番号	提案内容	結果
1	19号	「木造愛染明王坐像」を東京都北区文化財台帳に登録する件	承認

日程	報告事項	報告内容	結果
1	17号	「北区基礎・基本の定着度調査」調査結果からの分析について	了承

令和6年第4回東京都北区教育委員会臨時会会議録

令和6年7月24日(水) 13:30

- | | |
|---------|---|
| 清正教育長 | <p>それでは、出席委員が定足数に達していますので、会議は成立しています。これより、令和6年第4回北区教育委員会臨時会を開会いたします。</p> <p>初めに、日程第1、第19号議案「木造愛染明王坐像」を東京都北区文化財台帳に登載する件についてです。</p> <p>飛鳥山博物館長から説明をお願いします。</p> |
| 飛鳥山博物館長 | <p>教育長</p> |
| 清正教育長 | <p>飛鳥山博物館長</p> |
| 飛鳥山博物館長 | <p>それでは、私から第19号議案、「木造愛染明王坐像」を東京都北区文化財台帳に登載する件についてご説明申し上げます。</p> <p>表紙を1枚、おめくりいただきまして、議案書1ページの説明欄をご覧ください。</p> <p>「木造愛染明王坐像」を東京都北区文化財保護条例第5条に基づく東京都北区文化財台帳に登載するため、本案を提出するものでございます。</p> <p>それでは4ページにお進みいただきまして、別紙2の台帳登載文化財調査報告書の11、登載理由をご覧くださいと存じます。</p> <p>平成元年度から平成9年度にかけて行われました、北区内の仏像彫刻調査では208躯の仏像を確認しております。このうち、愛染明王の作例については4躯を確認してございます。中でも城官寺の木造愛染明王坐像に関しては、鎌倉時代中期作例としてはこの1躯のみでありまして、他の3躯に関しては江戸時代のものでございます。また、城官寺の木造愛染明王坐像は表現にも優れており、希少な作例でございます。</p> <p>続きまして、6ページへお進みいただきまして、別紙3の台帳登載文化財所見書の10、所見をご覧くださいと存じます。</p> <p>最後2行でございます。区内はもとより、関東において愛染明王の古例は少なく、鎌倉時代に遡る像は希少であり、表現にも優れた本像は意義深い作例といえるとの所見を北区文化財保護審議委員の塩澤委員より、ご報告をいただいているところでございます。</p> <p>私からの説明は以上でございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。</p> |
| 清正教育長 | <p>説明、ありがとうございました。本件につきまして、ご質疑またはご意見はございますでしょうか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p> |

清正教育長 ありがとうございます。特に反対意見はないようですので、本件につきましては、原案どおり承認することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

清正教育長 ご異議ないと認め、第19号議案につきましては原案どおり承認することに決定いたします。

次に日程第2、報告第17号「「北区基礎・基本の定着度調査」調査結果からの分析について」です。

教育指導課長から説明をお願いいたします。

教育指導課長 教育長

清正教育長 教育指導課長

教育指導課長 それでは、令和6年度「北区基礎・基本の定着度調査」調査結果からの分析について、ご報告申し上げます。

この調査は指定の教科は異なりますが、小学校第2学年から中学校第3学年までの児童・生徒を対象として、全学年までの学習内容の定着度を図るために本年4月に実施いたしました。

まず、本調査の目的を確認しますが、本調査は大きく三つ目的がございます。一つ目が学習指導要領の目的や内容の達成状況の把握、二つ目が各校における指導方法の改善充実、三つ目が児童・生徒の基礎的・基本的な学力の定着につなげる、これらの目的を達成するために、各学校ではこれからご報告する調査結果を分析し、現在授業改善推進プランを策定し、9月からの授業改善につなげていきます。また、サブファミリーごとに中学校第1学年からの結果から課題を集約しまして、小学校のうちにつまずきを解決する取組につなげるため、つまずきゼロプラン、小中一貫学力向上シートの作成をしていきます。

では、これより分析結果を簡潔にご報告いたします。

小学校、国語です。何枚かおめくりいただきますとページ番号が出てまいります。1ページでございます。

観点別の結果についてです。第2学年の主体的に学習に取り組む態度以外の観点では、いずれの学年におきましても目標値を上回る正答率となりました。第2学年、情報と情報を関連づけて相手に分かるように話すとか、文章を1文で書くことが目標値に達しておらず、高学年の文章読解におきましては要約についてはできているんですが、物語の叙述に即しての内容・理解は不十分という結果が出ています。

授業改善のポイントです。2ページ下から6ページまで示しておりますが、書くことは低学年のうちから体系を基に書く、それから指定文字数で書くとか指導を行う必要がございます。情報と情報とを関連づける力の育成も必要です。指導者として、国語の見

方・考え方を働かせる授業展開を工夫しまして、教材をしっかりと理解して授業をしていく必要がございます。

続きまして、中学校の国語でございます。7ページでございます。少しスピードを早めたような説明になることをお許しください。

観点別の結果でございます。第2学年、主体的に学習に取り組む態度以外の観点では、いずれの学年におきましても目標値を上回る正答率となっております。第2学年の主体的に学習に取り組む態度のみが課題でございますが、これは知識・技能、それから思考・判断・表現の資質能力を高めるような授業展開をすることで、向上可能と考えております。

授業改善のポイントですが、8ページから10ページまでお示しました。

中学生は自分の考えを明確にして書くこと、それから言語事項では漢字の部首、こういった分野の理解が不十分と分かります。文章の内容を理解することは文の構造を理解し、言葉が何を示しているのか理解する力が求められます。本調査ではまず問題文等の意味を理解し、その上で自分の意見を書く必要がございます。

読み取りは重要でございますが、読むことに加え、要約する、それから指定文字数で書く言語活動を設定して読むことと書くことを連動させる授業の工夫をしていく必要がございます。

続きまして、小学校の社会でございます。11ページとなります。

観点別の結果でございますが、第5学年におきましては知識・技能、思考・判断・表現で、第6学年におきましては知識・技能の観点が目標値を下回っております。

授業改善のポイントでございます。12ページ、13ページに記載しています。

第5学年では水害への備えについての理解に課題が見られました。災害に備えることと、災害発生時の行動の区別を明確にして防災教育と絡めながら、自助・共助の視点を抑えながら丁寧に学習を進めていく必要がございます。

第6学年では日本の食料生産に関わる資料の読み取りに課題が見られました。こうした資料の読み取りでございますけれども、グラフ、表、地図帳等を活用しながら数値から分かること、そういったものも考察する授業を実施していく必要がございます。

それでは中学校、社会に移らせていただきます。14ページでございます。

観点別の結果でございます。第1学年においては全観点、それから第2学年においては知識・技能のみ、そして第3学年におきましては全観点で目標値を下回る正答率となっております。特に、第1学年の思考・判断・表現は低調でございました。

授業改善のポイントです。15ページから17ページに示してございます。

第1学年では、明治時代から大正時代までの歴史の流れについての考察に課題が見られます。中学校の学習では、小学校で学習した人物・文化財・出来事を歴史の流れの中で捉えることが大切なので、出来事や年号などを覚えさせながらも歴史の流れをつかむように指導を工夫してまいりたいと思います。

それから第3学年では扇状地、地理的分野でございますが、扇状地の自然環境についての理解に課題が見られました。こうした写真資料とか、それから地形図などを使って生徒に確認させていく授業を改めて工夫していく必要がございます。

残念ながらどの学生も低調でございまして、学力の一番の基礎となる知識・技能の観

点が目標値に達しておりませんので、まずはこうした楽しく知的好奇心を喚起するような授業の改善を行うとともに、修学旅行、それから社会科見学等の学校行事とも、これまで以上に連動させて指導していく必要がございます。

続きまして、小学校、算数でございます。18ページでございます。

観点別の結果でございますが、全観点について、いずれの学年におきましても目標値を上回っております。大変に優秀で、これは学習の積み重ねがしっかりできているということだと考えております。

授業改善のポイントです。20ページから24ページでございます。

設問ごとには課題が見られますので、それらの課題を授業で意識的に取り上げて克服していく必要があります。例えば、折れ線グラフと表でございますが、1メモリの大きさの違いに着目して、1メモリの大きさの読み取り、また目的に応じて使い分けることにつなげていく必要がございます。円グラフと帯グラフの読み取りも同様でございます。こういったことを授業で丁寧に扱って課題の克服につなげていく必要がございます。

続きまして、中学校の数学です。25ページからとなります。

観点別の結果でございますが、大変よくできているかなと思います。しかし、第2学年の思考・判断・表現は下回っております。ただ、先ほども申しましたが、大変優秀だと思います。教育アドバイザーによる指導の成果とも捉えてございます。

授業改善のポイントですが、26ページから28ページまで示しました。一つ上げるとしますと、度数分布の中央値の理解が不十分でございます。昨年度も同様の内容について課題が見られております。平均値、中央値、最頻値、最小値・最大値などの用語の意味についても丁寧に確認をして、どの値を使えば知りたいことが調べられるのか、理由も合わせて考えさせるとともに、資料に対する理解を、読み取りに対する理解を深めていくことが大事でございますので、こうしたことを授業で扱ってまいりたいと思います。

そして、続きまして、小学校の理科でございます。29ページでございます。

観点別の結果につきましては、第5学年の思考・判断・表現以外は全ての学年で、どの観点も目標値を下回っております。どれも目標値に近い達成率でございますが、課題であると捉えています。

授業改善のポイントは30ページから32ページまで示しました。これまでも理科教育アドバイザーによる指導力向上の指導、それからお茶の水女子大学との連携による授業により、問題解決の過程を重視した授業改善に取り組んでいますので、引き続き、この力の育成を大事な命題として続けてまいりたいと思います。そして、理科は自然に親しむことから始まる教科ですので、この自然に親しむという体験を重視しながら必要な資質・能力の育成につなげてまいります。

そして、今回の問題では4年生で長ネギと鳳仙花の比較から考える問題が出されております。日常生活で畑がなかったり、スーパーマーケットに行っても意識して野菜を見ていたりしないと、なかなか回答が難しいものと捉えました。こうした場合の対策といたしましては、日常生活と教科書の内容を関連づけた授業を工夫していく必要があると思います。

それでは中学校、理科でございます。33ページでございます。

観点別の結果につきましては第1学年の思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の二つが目標値を上回ったものの、第2学年、3学年におきまして、全ての観点で目標値を下回る結果が出ております。課題であると考えております。

授業改善のポイントですが、35ページから37ページに示しました。例えば、用語理解に課題が見られる場合がございます。乗算という用語を覚えていない、意味理解がなされていないということで、回答できないということにつながっているものも分かっています。それから化学式とか、植物の分類とか、知識・技能として定着していないということも分かっておりますので、こうしたことを小学校とのつながりの中で、教科書の内容はしっかり覚える、そして考えさせるという授業の工夫をしていく必要があると考えています。

最後の教科です。小学校の英語でございます。本年度から小学校の英語は導入いたしました。新たな導入学年は小学校6学年と中学校第1学年です。

38ページでございます。授業改善のポイントも38ページから39ページに示しております。

主体的に学習に取り組む態度は目標値くらいでございますが、他教科に比べるとよくできていると言えらると思います。ただし、音声を聞いて活字体の小文字で書き表している、につきましては4割近くの誤回答がありました。英語の小文字は小学校5年生できちんと書けるように指導する必要がございます。学校訪問で教員から話を伺ったのですが、小学校はモジュールの授業を週3回行っておりまして、英語に触れる回数が多いです。そしてコミュニケーションを図ることを重視する教科でございますので、児童は楽しく授業に臨んでいるということでございます。

小文字や大文字は小学校で書けるようにして、英語での文章も例文を見ながら書き写すなどのことを授業で取り入れて工夫をしております。

最後の中学校の英語でございます。40ページでございます。

観点別の結果につきましては、中学校第3学年の主体的に学習に取り組む態度のみが目標値を下回りまして、他の観点につきましてはいずれの学年におきましても目標値を上回る正答率となりました。義務教育、最終学年の出口のところで英語への意欲を上げることは重要であると考えてございます。

授業改善のポイントは、41ページから43ページに示しました。

どの生徒も言語活動を丁寧に積み重ねていくことを継続してまいります。そして、第3学年でございますけれども、メール文を読んで、その概要を捉えて英文を完成させる目的も設問がございましたが、そこがあまり振るいませんでした。設問の対策としましては実際にメール文を書いて、メール文を教材として扱って返信をライティングするなど、体験をしながらの取り組みが有効と考えています。以上でございます。

ご報告は以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。

清正教育長

ご説明、ありがとうございました。本件につきまして、ご質疑またはご意見はございますでしょうか。

本間委員	教育長
清正教育長	本間委員
本間委員	<p>丁寧な報告、ありがとうございました。また、分析ですとか、授業改善のポイントなど、まとめるのは本当に大変なことであったと思います。ありがとうございます。</p> <p>今、全体的にご説明いただきましたけれども、事前に資料は全部目を通させていただきました。確かに目標値という形で見ますと、ある程度のところに行っているのかなという印象があるんですけども、経年変化はありませんが前年度と比べると割と下降傾向も見られるのかなという印象があります。この点について、各学校にどのようなご指導をなさっていくのかを伺いたいのですが、それに当たって、私どもは全体的な傾向しか分からないのですが、学校差というのは結構あるものなのではないでしょうか。その点をまず、教えてください。</p>
教育指導課長	教育長
清正教育長	教育指導課長
教育指導課長	<p>まず、学校差でございますが、ございます。ただ、調査の目的自体が学力を上げるというよりは、授業を改善して、その上で学力の向上につなげていくということが目的でございますので、この辺りは学校の実態に応じて授業改善の推進プランの策定につなげているところでございます。</p> <p>それから下降傾向というお話がございましたけれども、確かに昨年度の結果と比べると、そういった教科もあるかなと思いますが、やっぱり長い目で少し見ていく必要もあると考えてございますので、この辺りも調査導入時の結果からも見ながら、学校訪問をして指導主事のほうからも学校指導に、授業改善の指導につなげていきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
本間委員	教育長
清正教育長	本間委員
本間委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>指導主事の先生方が課長をはじめ、一般訪問できちんと指導をなさっていらっしゃる様子は、直接拝見をして、いつも大変すばらしいというふうに思っております。その中でも今課長がおっしゃったように、どうしても学校差は授業を拝見していても、とても感じるところです。特に、やはり生活面での学級内、学年内の落ち着きがそのまま、ある程度学力の定着度に直結しているところがあるのかなというふうに思いますし、学校</p>

によっては若手の先生方が多いですとか、年度によって人に入れ替わりが一度に大きくあったとか、様々な影響があるかというふうに思いますので、かなり大変な状況になってから、指導主事の先生方が応援に行くというよりは、一般訪問以外でも行かれて、授業の指導を入れたほうがいいのかというふうに思われる教室もあるかというふうに思います。その辺りはなかなか校長先生方のお考えもあると思うので難しいと思うんですけども、今現在北区の校長先生方は教育委員会との連携を拒否するようなタイプの方はいらっしゃらないかというふうに思いますので、ぜひ小まめに足を運んでいただいて、学級での授業改善に向けて手だてを取っていただけたらありがたいなというふうに思います。

もう一点だけ、すみません。社会については特に、ちょっと気になる場所なんですけれども、今ちょうど教科書採択に向けて、私どもも勉強をしている場所なんですけれども、中学校の社会はちょっと振るわないという状態というのは教科書との関連というのは何かありますでしょうか。もし、ヒントになるようなことがありましたら教えてください。

教育指導課長 教育長

清正教育長 教育指導課長

教育指導課長 教科書の関連というところについては、どの教科書も同じように国からの検定を踏まえて作られていますので、大きな差異はないのかなと考えていますが、最近の設問の特徴、調査の特徴として複数の資料を読み取って傾向を考えたり、対策を考えたり、自分の意見を書くというようなことが求められると思います。極端に言えば書く、というところが北区としては今、ちょっと弱く、課題のあるところなのかなと思っています。そうしたところを改善していく必要があると思うんですけども、社会に限らず、数学などもそういったやはり書くことについて、書いて自分の考えを示すというところに北区の子は課題が少し見られるかなと思いますので、先ほどご指摘いただきました学校訪問等しながら、伝えてまいりたいと思います。

以上です。

本間委員 教育長

清正教育長 本間委員

本間委員 何度もすみません。

今のお話と関連してなのでですけども、本当にごく一部の授業を拝見しただけでのことで大変恐縮なんですけれども、今の課長がおっしゃったようなことというのは国語の読み取りの力ですとか、表現力と当然ながら関連してくるというふうに思うんですけども、特に国語の授業を拝見していると、例えば低学年のうちからすごく気持ちを要求する授

業、ワークシートに気持ちを書かせるというようなことがありますけれども、低学年は学習指導要領などを見ていまして、あまり気持ちを追及するのではなく、物語文であってもしていること、動作していること、そういったことを読み取って、それを動作の中からおのずとそのときの状況をつかんでいく、本当に釈迦に説法のようなことで恐縮なんです、そういう流れだと思わんですけれども、それも一例であるように説明文においても低中高で示されている枠組みから外れて、低なのにもむしろ高学年ぽいことを今から要求しているというような授業も散見されるように、私は受け止めています。ですので、指導主事の先生方がご指導なさるときには、本当にとても柔らかな言葉で丁寧に的確に指導してくださっているんですが、より根拠となるところを先生方は、特に若手の先生方は学習指導要領に立ち替えて、自分自身の授業を見直すということはすごく基本だと思いますし、そのことが、学年が変わっても手順を踏んで指導していくということにつながっていくというふうに思いますので、本当に釈迦に説法で恐縮なんです、その辺りのことをきちんと踏まえ、ずばり指導していてもいいのではないのかなというふうに思っておりますので、引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

教育指導課長	かしこまりました。
清正教育長	ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。
長谷川(勝)委員	教育長
清正教育長	長谷川委員
長谷川(勝)委員	すみません。聞きそびれたかもしれませんが、基本的なことで。目標値って何を目標値にしているのでしょうか。
教育指導課長	教育長
清正教育長	教育指導課長
教育指導課長	目標値は厳密には、実は我々も分かっていないところがあるんですけれども、委託業者のほうで設定している目標となる数値になります。これぐらい正解できるだろうと、求めたいという数値的なもの、何割とか、そういうものになります。それが超えていればいいということと、超えてなければ課題ということであって、決して平均値ではありません。
長谷川	教育長

(勝) 委員	
清正教育長	長谷川委員
長 谷 川 (勝) 委員	すみません。ということは、このテストを作っている業者さんということですね。テスト問題も業者さんが作っているという。
教育指導課 長	教育長
清正教育長	教育指導課長
教育指導課 長	そのとおりでございます。業者さんのほうで作成させているものです。
長 谷 川 (勝) 委員	教育長
清正教育長	長谷川委員
長 谷 川 (勝) 委員	分かりました。では恐らく、その業者さんのほうでデータベースで問題とかを作っていて、過去のデータに基づいておおむね推定値を出していて、この問題だったら大体これぐらいの正答率みたいな感じで決めているのでしょうか。
教育指導課 長	おっしゃるとおりです。
長 谷 川 (勝) 委員	おおむね理解しました。では、その目的値に対してどうかということで。これは、その目標値に対して、例えば0.5ポイントとか、1ポイントぐらいの差というのがあるんですけども、そこのところは何か統計で検定みたいなことはかけられていますか。
教育指導課 長	教育長
清正教育長	教育指導課長
教育指導課 長	そこまではしていません。検定まで書いてないので、どのくらい有効なのかというところは捉えてないので、この調査においては。

長 谷 川 (勝) 委員	教育長
教育指導課 長	長谷川委員
長 谷 川 (勝) 委員	ありがとうございます。多分、母数が多いので、1点ぐらい違えば有効だと出ると思 うんですけども、もしかしたら0.5とか1点ぐらいだと誤差の範囲であまり上がった と言えなかったとか、目標値より1点低くてもこれは同じと見たほうが良いという解 釈もできるときもあるのでと思ひまして。 すみません。ありがとうございます。
清正教育長	ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。 (質疑・意見なし)
清正教育長	よろしいでしょうか。それでは本件に関する報告は終了いたします。 以上で本日の日程は全てを終了いたしました。これをもちまして、令和6年第4回教 育委員会臨時会を閉会いたします。